

壁や床などの表と裏を高精度で位置合わせ 位置合わせ装置



—装置の概要—

知りたい位置に発信器の発信ポイントを合わせセットし、その反対側で信号を探し位置を合わせるものになります。金属板、コンクリート、デッキプレートの使われた床や天井まで、ほとんどの場所で表と裏の位置合わせが可能です。



<装置一式>



<受信器>

寸法：145×80mm 厚み：35mm



<発信器>

寸法：115×90mm 厚み：60mm

—設置方法—

壁や床に発信器を設置し、反対面で受信器により LED が点灯する場所を見つけ、その中で LED の消灯する場所を探すことで、位置を探します。



(鉄板では磁石により貼り付け可能)

<発信器と受信器による測定様子>

—仕様—

・測定厚み距離

コンクリート：約 50～400mm (デッキプレートありは約 200mm まで検証済み)

鉄板：20mm まで検証済み

☆ ニーズによりパワーアップも可能！ ご相談ください！

・中心精度

±5.0mm

・電源

発信器、送信器ともに角型 9 v (0 0 6 P) 電池 一個

—こんな使い方に—

○ X線調査時の位置あわせに便利！

建物の電線や配管の増設には壁や床に穴を開けることが必要です。その際、内部の鉄筋や配管（特に電配管など）を傷つけないようにエックス線による内部調査が行われています。この際、フィルムを貼る側の位置がわかりにくいなどがあります。



—位置あわせが困難な場所—

- 壁をはさんで両部屋での柱や梁の位置が違い基準になるものがない
- 広いフロアでの床の位置
- 大型鋼板などの溶接部エックス線検査

このような場所で活躍中！！

☆近年増えているデッキプレートが使われている
天井(床)などでも位置あわせ測定が可能！！



—注意事項—

- ・電配管、モータ駆動の装置、消費電力の激しい機器が近くにある場合、測定の妨害になる場合があります。
- ・コンクリート表装部に鉄パイプがある場合、精度低下の原因になる場合があります。

○ ちょっと便利な使い方

- ☆ 電気の流れている配線を受信器のみで見つけることもあります。

受信器を壁にあてて動かして下さい。

通常、LEDは消灯しています。



LED点灯！測定の妨害になる電気信号を受信しました！



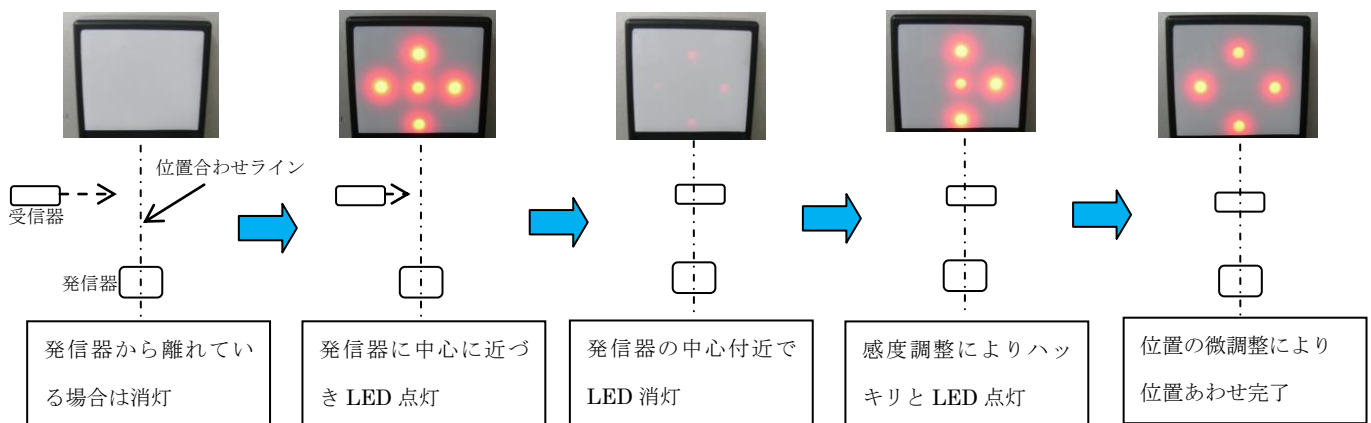
壁の中で見えないけれど、電気信号が流れている可能性があります！

※穴を開ける際には注意が必要です

※検出を保証するものではありません

—受信器操作方法—

- ① 感度調整のつまみを回し感度を MAX にする。
- ② 受信器で五個の LED が点灯する場所を探す。
- ③ 感度を落とし、LED 点灯範囲を狭める。
- ④ その場所の中で LED が消灯する場所を見つける。
- ⑤ 感度を調整し、LED の一つが消える状態にする。
- ⑥ センターの LED が消灯する位置に合わせ完了。



☆ 距離や鋼板の厚みにより、一つの LED の消灯まで合わせられない可能性もあります。その時は五個の LED すべてが消えた場所で位置合わせ完了となります。(この場合精度は若干低下)



お問い合わせ

TEL : 03-3766-4501

FAX : 03-3765-7847

Address : info@tokyorigaku.co.jp

担当 : 長嶋